

# 林業ミニ情報 No.127

平成27年1月

- 1 常陸太田・多賀林業振興会が間伐講習会を開催 ..... 1  
(常陸太田林業指導所 木村)
  - 2 白方小学校で森林・林業体験学習を実施 ..... 2  
(水戸林業指導所 市村)
  - 3 カスミ共感創造の森の活動エリアを拡大して協定を締結 ..... 3  
(笠間林業指導所 大高)
  - 4 石岡市の福祉施設で木造建物が完成 ..... 3  
(土浦林業指導所 中村)
- 〔林産情報〕 素材・製材品価格及び新設住宅建設の動向 ..... 5  
(林業技術センター 益子)

## 1. 常陸太田・多賀林業振興会が間伐講習会を開催

去る12月11日(木)に、常陸太田林業振興会と多賀林業振興会の共催による間伐講習会が開催されました。

この講習会は、林業技術向上のため両振興会会員を対象に毎年行っている事業であり、当日は小雨がちらつく寒い日でしたが会員ほか約70名の方々が参加しました。

講習会は、「上手な採材と造材のしかた」をテーマに、常陸太田市小妻地内の小妻共有林(スギ50～60年生)を会場に、採材・造材に主眼を置いた内容で行われました。

講習では、常陸太田林業振興会の江幡会長、多賀林業振興会の大部会長、県北農林事務所林務部門の加藤部門長のあいさつの後、常陸太田市森林組合の林課長から間伐木の採材・造材時における注意点及び共販所の市況についての説明があり、その後間伐木の伐倒から採材・造材までの一連の作業のデモンストレーションが行われました。参加者の方はプロの作業を目の当たりにし、作業の素早さ、的確さや、チェーンソーの切れ味に驚いていました。

その後3班に分かれ、地元の森林組合職員や県北農林事務所の林業普及指導員のサポートのもと、材の曲がり部の判断や、材の径による長さの取り方など製品としてより価値の高まる方法についての実技と講習が行われました。

最後に、林業技術センターの鴨志田首席専門技術指導員から「木質バイオマス資源の需要が高まる中で、自伐林家の方々においても伐採した原木をいかに高く販売して行くかが大事。そのためには市場ニーズを踏まえた採材方法が重要となってくる。本日は、誠に時宜を得た講習会であった。」との講評がありました。

講習会終了後は、熱々の豚汁が振る舞われ寒さも相まって参加者の皆さんはおいしそうに食べ、冷えた体を温めていました。

今回の講習会を通じて、木材を少しでも高く売するためには市場価格を見据えた採材・造材を行うことの重要性を理解して頂けたと思いますので、当林業指導所では、このような講習会等を通じて森林所有者への技術支援や情報の提供を積極的に実施して行きたいと考えています。



講習会の様子



講習会の様子

(常陸太田林業指導所 木村 理)

## 2. 白方小学校で森林・林業体験学習を実施

去る12月17日（水）と18日（木）の2日間に渡り、東海村立白方小学校で森林・林業体験学習を実施しました。5年生の児童3クラス97名と6年生の児童4クラス123名、合計230名を対象に、水戸林業指導所と笠間林業指導所、林業技術センターの林業普及指導員がスギの県産材を利用したお箸づくりを指導したほか、森林の働きや林業の役割について説明しました。

最初に、普及指導員が道具の使い方を説明した後、早速お箸づくりに取りかかりました。かんなを初めて手にする児童も多く、その扱いに手こずりなかなか作業が進まない児童もいましたが、普及指導員のサポートにより全員無事にお箸を作ることができました。

体験学習の最後に、普及指導員が森林の持つ様々な働きや森林の働きを生かすためには間伐などの手入れが必要なことを説明しました。また、お箸づくりに使う材料は、森林の手入れで出た間伐材を利用している事を話しました。

児童からは、「間引きした木も十分使えて、それを捨てるのはもったいないと思った」「テレビで見てもおもしろそうだったから、かんなを使えてうれしかった」「木でお箸を作ったので、色々なもようや色がついていたのでおもしろかった」「売ってる箸よりも手作り感があっていいなと思った。身近な物にもスギの木が利用されてるのか気になった」「お箸を作るのはすごく楽しかったと同時に、自然の資源を育てるために不要となってしまった資源を利用できて一石二鳥だと思った」などたくさんの感想が届きました。

自ら作ったお箸を使うことで、あらためて木の良さを感じてほしいと思います。今回のように1校で大勢の児童が参加しての体験学習を実施したことは林業指導所でも初めてのことでしたが、けが等もなく、無事終了することができました。今後も学校の要望等に合わせ、多くの子供達に体験学習の機会を提供していきたいと考えています。

（水戸林業指導所 市村よし子）



お箸作りの様子



林業普及指導員が森林の働きを説明



### 3. カスミ共感創造の森の活動エリアを拡大して協定を締結

食品スーパーの(株)カスミ(本社:つくば市)では、平成23年春に創立50周年を迎えたことから、その記念事業の一環として、荒廃した森林を再生するために植樹などの森林整備による「カスミ共感創造の森」づくりに取り組んでいます。

企業による社会貢献活動(CSR)の一環として、森づくりを提案するいばらき森林づくりサポートセンターと当林業指導所が連携して、笠間市にある愛宕山の私有林約4haを活動のフィールドとして選定し、(株)カスミ、森林所有者、いばらき森林づくりサポートセンターの3者による10年間の「いばらき協働の森パートナーズ協定」を締結し活動を実施してきました。

これまでの活動として、(株)カスミ社員とその家族、顧客のほか緑の少年団、県内の森林ボランティア、県及び笠間市の職員など延べ約1,900名が参加し、スギ、ヒノキ、サクラ、コナラなど14種、約9,600本を植栽してきました。林業指導所では、この取り組みに対し、地元の笠間西茨城森林組合と森林ボランティアであるあたご四季の会との協力体制により、参加者への支援と技術指導を行ってきました。

この植樹活動については、平成26年度までの4年間で完了しましたが、さらに活動エリアを拡大して実施していきたいとの要望があったことから、林業指導所では隣接する約0.9haの森林所有者に対し、これまでの活動の概要や現地での説明を行った結果、この活動に協力を得ることができたため、地元の笠間市と林業指導所の立ち会いのもと、この0.9haについて平成26年から新たに10年間の協定を締結することができました。



パートナーズ協定締結式の様子

県内の森林で、社会貢献活動の一環として企業が行っている森づくりの事例はありますが、私有林においてこれだけのまとまりのある面積で活動していることは地域の緑化や森づくりに対する県民意識の高揚に繋がることから、引き続き積極的な支援・指導を行っていきたく考えています。

(笠間林業指導所 大高 明男)

### 4. 石岡市の福祉施設で木造建物が完成

社会福祉法人白銀会(石岡市鹿の子)では、同市内に障害者を支援する施設として「ワークセンターしろがね」の整備を計画し、当林業指導所にぜひ県産材を活用して木造で建築したいと相談がありました。そのため、公共施設等の木造化・木質化を推進するた

めの補助事業である「木づかい環境整備事業事」が利用可能である事を説明し、事業計画の作成を指導した結果、平成 26 年度の事業に採択されこのほど施設が完成したので紹介します。

「ワークセンターしろがね」はレストランとして利用される施設で、障害者の実践的な就労の場となる施設です。建物は木造 1 階建て床面積 2 5 8 m<sup>2</sup>、太い梁(はり)材が客席から良く見える構造になっており、使用された木材は常陸大宮市外 4 市町で生産された県産スギ材で、使用量は 2 7 6 m<sup>3</sup>と一般住宅に比べてふんだんに使用されています。

梁、桁、柱などの構造材は笠間市内や栃木県那須塩原市内の製材所で加工され、また、一部の部材は常陸太田市内の製材所で集成材に加工されたものを使用しております。

このような県民が利用する施設に県産材が広く活用されることで、木の良さや木材利用の意義が多くの人々に理解され、県産材の需要拡大につながっていくことが期待されます。林業指導所では、今後もこのような取り組みを支援し県産材の需要拡大に取り組んでいきたいと考えています。



施設の外観



施設内部様子



施設内部の様子（梁材）

(土浦林業指導所 中村 弘一)

〔林産情報〕

茨城県の素材・製材品価格(平成26年)

単位：円/m<sup>3</sup>

区分	樹種	規格	種類	H25年 平均	H26年 時点平均	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
国産材	スギ	m cm cm 3.00×14~20	柱材	11,900	13,900	13,400	12,400	13,000	14,600	15,500	15,400	14,500	14,200	14,000	13,200	13,200			
		3.65×18~28	中目材	12,900	14,100	14,500	15,200	14,900	14,500	14,400	13,000	11,200	12,700	14,000	15,900	15,200			
		4.00×8~13	小径材	10,300	14,900	16,100	15,200	14,900	15,600	15,600	14,600	14,600	14,200	14,500	14,100	14,300			
	ヒノキ	3.00×14~20	柱材	20,300	17,700	24,900	17,000	16,500	15,100	15,500	15,500	15,900	17,000	19,000	19,800	18,600			
		4.00×18~28	中目材	23,700	21,700	28,200	23,700	21,300	21,300	21,000	19,400	20,300	20,500	21,600	21,100	20,200			
	米ツガ	11.00×径・36	コースト	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
		11.00×径・28以下	j・ソート	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	米マツ	11.00×径・40	カスケード	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000
		11.00×径・36	コースト	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000
		11.00×径・28以下	j・ソート	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
	カラマツ	4.0	込	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
	エゾマツ	3.8	並材	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
製材	スギ	m cm cm 3.00×10.5×10.5	柱①	46,200	55,600	55,000	58,000	58,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
		4.00×10.5×10.5	柱②	45,200	50,800	53,000	53,000	53,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
		3.65×1.4×10.0	ヌキ	50,700	55,900	55,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000
		3.65×3.6×4.5	タルキ	46,000	52,900	52,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000
		3.65×4.5×10.5	敷居・鴨居	123,300	150,900	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
		4.00×9.0×9.0	母屋	40,200	42,200	42,000	43,000	43,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000
	ヒノキ	3.00×12.0×12.0	柱①	91,500	111,800	110,000	120,000	120,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
		4.00×12.0×12.0	土台	75,600	110,900	100,000	120,000	120,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
		4.00×4.5×10.5	敷居・鴨居	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000
	マツ	4.00×12.0×24.0	平角	58,200	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
	米ツガ	3.00×10.5×10.5	柱	57,200	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
		4.00×9.0×9.0	母屋	56,300	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
	米マツ	4.00×12.0×24.0	梁	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000
	米ツガ	4.00×12.0×12.0	注入土台	68,600	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
	エゾマツ	3.80×3.0×4.0	タルキ	60,800	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
	WW集成材	3.00×10.5×10.5	柱	72,600	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000

注)ヒノキ柱①は、平成11年以前10.5cm角  
 WW(わがわが)集成材は、1本あたりの単価をm<sup>3</sup>に換算  
 カスケード：大膽中央部カスケード山脈から産出される目詰みの材  
 コースト：太平洋沿岸部コースト山脈から産出される目詰みの材  
 j・ソート：北米における末口径11インチ下の種丸太、または日本向け丸太

茨城県の新設住宅建設の動向

単位：戸

区分/月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
25	着工数	1,487	1,584	1,683	1,843	1,710	2,207	2,184	1,854	2,228	2,290	2,327	2,199	23,596
	木造数	1,063	1,131	1,351	1,344	1,316	1,363	1,279	1,410	1,427	1,635	1,781	1,554	16,654
	木造率	71.5%	71.4%	80.3%	72.9%	77.0%	61.8%	58.6%	76.1%	64.0%	71.4%	76.5%	70.7%	70.6%
	累計	1,487	3,071	4,754	6,597	8,307	10,514	12,698	14,552	16,780	19,070	21,397	23,596	
26	着工数	1,931	1,969	1,805	1,872	1,607	1,565	1,978	1,716	1,858	2,191	1,762		20,254
	木造数	1,523	1,407	1,308	1,145	1,220	1,256	1,282	1,218	1,307	1,362	1,297		14,325
	木造率	78.9%	71.5%	72.5%	61.2%	75.9%	80.3%	64.8%	71.0%	70.3%	62.2%	73.6%		70.7%
	累計	1,931	3,900	5,705	7,577	9,184	10,749	12,727	14,443	16,301	18,492	20,254		

